

令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	とうもろこし振興事業
事業主体 (連絡先)	木曾町 開田支所 木曾馬の里振興課 (0264-42-3331)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 イ 農業振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	706,600円(うち支援金:556,000円)

事業内容

開田高原産とうもろこしの美味しさを一人でも多くの人に知ってもらおうと、名古屋方面と関東方面に新聞広告を出し4月からオーナーを募集し参加農家へ振り分けた。

- ・オーナー応募数 188件
- ・当選オーナー数 80件(去年より28件減)
- ・参加農家件数 11件(去年より2件減)
- ・小口数 98口(1口あたり50本 去年より22口減)
- ・オーナー費計 1,470,000円(1口あたり15,000円)

また、とうもろこしの収穫時期や直売所の場所、農家の連絡先を載せたリーフレットを作成し配布した。



【収穫祭に参加したオーナー達】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 金額を上げて受け入れ口数以上の応募があった。
開田高原産のとうもろこしの価値を高めることができた。
- ② 生産者の高齢化が課題となる中、代金の前払いによる経営の安定化や、金額増による農家の収入増加ができ、生産者の意欲向上に繋がった。
- ③ 農家と消費者を結びつけることで、農家の新たな販売先の拡大に繋がった。

【目標・ねらい】

- ① 開田高原産とうもろこしのブランド化
- ② 生産者の意欲向上
- ③ 販売先の拡大

※自己評価【C】

【理由】

- ・関東への広告へ力を入れたが、関東からの応募者が13件と伸びなかったこと。
- ・金額を上げたにもかかわらず、参加農家が増えなかったこと。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

オーナー制度が県外に認知もされてきたので、口数を確保する工夫が必要である。農家から希望や意見を聞き、農家をもっと参加しやすいものになるよう調整が必要である。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある